



# おじゃまします

## ～精神科訪問看護日記～

(3)

高垣愉佳

### 強迫性障害≠洗浄強迫

「現代精神医学」2008、によると、強迫性障害とは、強迫思考・強迫観念あるいは強迫行為が主な病像であり、主な強迫行為の例としては計算強迫・詮索強迫・洗浄強迫などが挙げられる。らしい。精神科訪問看護の職についているスタッフであれば、誰しもが同様の知識を持って仕事を行っています。そこで、ついつい頭の中にある知識の中に患者さんをはめ込んでしまうということがここでも起こって来る事があります。

貴美枝さんは40代半ばの強迫性障害の患者さんです。洗浄強迫があるらしく入浴時間が長いらしいのだけれど、担当ナースが男性だったので入浴の話は同姓の方が話しやすいだろうということで担当者と一緒ににおじゃましました。

「入浴時間が長いとお聞きしたんですが、詳しくお話を聞かせてもらえますか？」と尋ねると、「そうなんです。長いと言われる

んです。」と。お伺いした詳細によると、大体1時間以上、時には2時間近く入っている時もあるとのこと。これだけを聞くと、確かに「それは長いですね。」と言いたくなり、ついつい専門知識と結びつけて、きっと洗浄強迫があるのだろうと推察してしまいました。が、結論から言うと、貴美枝さんの場合は洗浄強迫ではありませんでした。入浴している1時間以上の間、浴室の中で何をしているのかを具体的に尋ねた結果分かったことです。「もっと具体的に、どんな風にして洗いますか？どれくらいの量のシャンプーで？今ちょっと真似してやってみてください」などと何度も何度も言いながら詳細をお伺いしました。

まず、浴槽に10分ほどつかって身体を温める。その後、頭を洗う。シャンプーは2度洗いして、リンスは1回。ここまでで少し身体が冷えるので、もう一度浴槽につかって身体を温めた後に体を洗う。ナイロン製のタオルにボディーソープをつけて1

回洗ってすすぐ。体を洗い終わった頃にはまた身体が少し冷えるので、もう一度浴槽につかって身体を温める。そして、入浴後におふろの掃除をする(いつも最後に入浴するからということでした)。鏡とシャンプーなどを載せている台と椅子や床などを洗剤をつけたスポンジで1度洗って流す。そうするとまた身体が冷えるので最後にもう一度浴槽につかってから上がるのだそうです。この一連のお話を聞きながらメモを取らせてもらって、かかる時間を計算すると最短でも1時間はかかるだろうという事が理解できました。ですが、頭にしろ体にしろお風呂場にしろ洗っている回数はそれぞれ1回だけで、手順を聞いていても特に念入り過ぎるということもありませんでした。洗っている間に身体が冷えるのでもう一度浴槽につかるというのも理解出来るように思いました。

「う～ん、こうしてお聞きして紙に書いて計算してみたら、確かにそれだけの事をされてたら1時間では済まなさそうですね。」と言うと、「そうなんですよ。家族からも長いと言われてて、だから迷惑にならないようにいつも一番最後に入ってるんです。この間、お風呂に時間がかかるという話を担当の人にしたら洗浄強迫というやつかもしれないから一度女の看護師さんにお話を聞いてもらった方がいいと言われて。。私はどうしたらいいんでしょうか?」と。

「入浴にそれだけ時間がかかると、疲れたりする事もあると思うんですが、どうですか?どんな所にお困りですか?」と尋ねると、とても以外な言葉が返って来ました。「困ってることなんか特にありませんけど、

みんなに長いつて言われるのと確にお風呂に時間は取られてるから。」と。「入浴時間の長さとか入浴の事で困っておられることはないんですか?」と確認すると「はい。特に。」と。「じゃあ、入浴の時間って言うのは貴美枝さんにとってどんな時間なんですかね?」と尋ねると「リラックスするとか、楽しみな時間です。」とのお返事でした。

「最後に、手を見せていただいてもいいですか?」と手の皮膚の様子を観察と触診させてもらったところ、特に荒れていることもひび割れたり、あかぎれしている事はありませんでした。これは、貴美枝さんが話してくれた通り、過剰に洗浄し過ぎていることは無いということの一つの裏づけだと言えます。

「今日詳しくお話をお伺いして、皮膚の様子もを見せていただいて、多分洗浄強迫ということは無いと思いますので、のぼせない程度にこれからも入浴は楽しみの時間にされたらいいのかなあと思いました。」とお伝えして、その日のおじやまを終えました。

同行していた担当ナースから、「最初は何の話をしてるのかと思いましたけど(頭の洗い方などを事細かに再現してもらいつつ事細かに聞いていたことを指して)、話はあそこまで詳しく聞かないとだめなんです。まさかあの長い入浴時間でやってた事があれで、しかも長くて困ってるんじゃないかとリラックスとか楽しみの時間やったとは思いませんでした。いや、ほんま先入観持ったらだめですね。いい勉強さしてもらいました。」とのコメントをもらいました。が、実は事細かに聞いた私自身も驚きの展開で

した。事細かに聞いた結果、洗浄強迫が明らかになるのではないかと私も思っていたからです。専門的知識から来る先入観を持ってしまうことは避けられない事もありますし、それが的確であったり役立つ事もあります。ですが、結論づける前には必ず、目の前の患者さん一人ひとりのお話をしっかりと伺い観察する事を通して、結論を支持する十分な裏づけを得るというプロセスを飛ばしてしまっただけではいけないなと思いました。

入浴が洗浄強迫ではないという位置づけになった結果、貴美枝さんは今でも毎日1時間～2時間かかる長い入浴タイムを、リラックスして楽しんでおられます。